

# 平成28年度一般会計・特別会計・公営企業会計 予算決算常任委員会 (予算審査)

平成28年度の各会計当初予算については、議長を除く議員全員で構成される予算決算常任委員会で3日間にわたって審査しました。

質疑の中から主なものをお知らせします。



委員長 藤原栄孝

## リノベーション スクール

**Q** 27年と同じ取り組みでいいのか。

**A** 起業に向け検討する機会を作るために家守塾を行うもの。継続して起業に取り組みようとする参加者がいる。

※現代版家守とは  
民間や公共が所有する遊休不動産を活用して、まちの課題を総合的に解決していく役目を担う人。

## 地域おこし協力 隊員

**Q** 事業内容は。

**A** ヨソモノ、ワカモノの視点から地域の課題と一緒に取り組む。町外への情報発信と地域活動を担う男女を1人ずつ募集し、10月から活動を予定。

## 学校給食費

**Q** 26年度決算において収入未済額353万円だったが現況は。

**A** 回収に努め26年度の3倍の収納率を上げた。

**Q** 就学援助での対応はできないのか。

**A** 訪問時に制度についての案内・説明をしている。

## ごみポイ捨て監視員

**Q** 27年度の活動状況は。また、制服着用、報告書の提出はなされているか。

**A** 月3回以上の区域内パトロールと国体リハーサル大会で会場美化のボランティア活動を行った。活動の際は制服を着用し、活動後に報告書の提出を行っている。

## 認知症対策

**Q** 認知症地域支援員の配置と認知症初期チーム員の役割は。

**A** 支援員は認知症に対応のため、地域包括支援センターに1人配置し、看護師、保健師、



ポイ捨て禁止です (クリーン作戦)

社会福祉士の資格を持つ人に委嘱する。

初期チーム員は、包括的支援事業に位置付け、病気の初期の人のうち主治医がいないなどの困難事例に対応していく。

## 道路改良

Q 道路改良請願の実施見込みは。

A 通行の危険性、緊急性など多角的に優先順位を判断。28年度は、2路線300mを行う。

## 環境保全型農業

Q 28年度の計画は。

A 480ha取り組み、特裁りんご12haを追加。

## 特用林産

Q 特用林産施設体制



夢が持てる就農環境を

整備事業の内容は。

A 菌床しいたけ、ナメコ、ヒラタケの種菌や、おが粉の導入補助金。28年度は菌床しいたけ30万個増やす計画のため増額。

## 木材チップ製造

Q チップ製造委託料値上げの理由は。

A 間伐材、松くい虫被害木を原料としているが、近隣の木質バイオマス発電所建設の影響により、原料の木材価格が値上がりしているため、200万円増額。

## 親元就農

Q 親元就農する人への支援事業は。

A 家族経営協定などで、認定農業者制度を

十分に活用してもらえ  
るよう施策を進めてい  
く。

## 税務課

Q 滞納整理機構への派遣とは。

A 町の職員を一人派遣する。県の税務課に机を置き、町税の滞納を徴収・整理する技術を身に付けるもの。

## 確定申告

Q 未申告者への対応は。

A 申告をしないと各種証明書が発行されないため、確定申告後に未申告者へ通知を出す。

## 選挙投票所

Q 政府から投票場所の工夫をと言われている。

るが、町としてはどう  
対応するのか。  
A 共通投票所という  
ことになるが、今後の  
動向を見ながら判断す  
る。

※共通投票所とは  
どの投票区の選挙人  
も投票をすることがで  
きる投票所のこと。



成人式で行われた模擬投票